

来年3月 石川県で開催される全国大会に出場 決定 健闘を誓う

赤石太鼓保存会 ジュニアチーム

努力は報われると実感できたコンクール県予選 みんなで「一つになって最高の曲をつくりあげたい」

全国まちづくりフォーラムの1日目。全国各地から集まった参加者を歓迎するレセプション会場において、川根本町の伝統芸能「赤石太鼓」を熱演し、大きな拍手を浴びた赤石太鼓保存会の皆さん。

特に高校生以下のメンバーで構成されるジュニアチームの力のこもった演奏には、ひととき大きな拍手と歓声を送られていました。

8月26日、赤石太鼓ジュニアチームは島田市プラザおおるりで開催された日本太鼓ジュニアコンクール静岡県予選に出場。県内各地から参加した太鼓保存会のグループが、勇壮な音色を響かせ合う中で、物怖じせずに精一杯の演奏を披露。結果、「最優秀賞」という素晴らしい成績を収めました。大会出場8回目にして到達した初の栄冠に、メンバー一堂喜びを分かち合いました。

世話役の中原さん。

来年3月に石川県で行われる全国大会出場への抱負と、現在の練習活動の様子などを報告しました。

報告を受けた杉山町長は「赤石太鼓は、様々な活躍の場があります。この活動を通じて川根本町を誇りに感じてほしい。成績よりも思う存分やったという気持ちで大事。全国大会では力を出し切ってください」と激励しました。

少年高齢化の中で、地域の伝統芸能は存続の危機に瀕しています。

しかし、この町で集い、勇壮な太鼓の音を響かせる子どもたちがいる。そして、それを見た子どもたちが憧れの心を持ち、僕も私もやってみたいと思う。そうして、伝統は受け継がれていくのだと改めて感じます。

ぜひ石川県の空に、赤石連峰の雄大な情景を思い起こさせるような素晴らしい音色を響かせてください。

◆赤石太鼓保存会ジュニアメンバー

山田峻、松下知穂、中原瞳、長谷川光世、岡埜谷美樹、杉山皓亮、芹澤潤平、白滝さとみ、森下翔太、中原僚介、津山恵美、石川愛理（順不同・敬称略）

